

ひらつか

内海洋子さんが振り上げた手から放たれた鉄球。
4月24日に愛川町で開かれた愛川オープンペタンク大会で、内海さんら平塚ペタンク協会の会員6人は熱戦を繰り広げました。
ペタンクなどのニュースポーツは誰でも気軽に楽しめるスポーツとして注目を集めています。詳しくは2面へ。

気軽に始める スポーツライフ

目次	1～3面… 特集 ニュースポーツ…市内で活動する団体や市の取り組みを紹介します。	8面…「写真リポート」「がんばれ湘南ベルマーレ」「フォト歳時記」「市長こらむ」 広報ひらつかのPDF版と電子書籍版やデジタルアーカイブは、市ウェブからご覧いただけます。	●発行 平塚市 ●編集 秘書広報課 ●法人番号 3000020142034 〒254-8686 神奈川県平塚市浅間町9番1号 ☎0463-23-1111 ファクス0463-23-9467
	4～7面…募集・お知らせ・健康と福祉 「子どもの健康」「お知らせ掲示板」など		

約8m先の蛍光色のビュットを狙ってボールを投げます



● 何気なく始めた ● だから続けられる ●

ニュースポーツ

ペタンク

鉄球を手にならば誰もがでてる

ニュースポーツは誰もが気軽に楽しめるようにと考案され、現在は数百種目もあると言われています。勝敗を決める競技的要素に加え、楽しむことを目的としたレクリエーションスポーツとして老若男女に親しまれています。

問 スポーツ課 ☎ 31-3060

平塚ペタンク協会 ☎ 31-2021

カキーン――。

鉄球がはじかれ、乾いた音が公園に響きます。

フランス発祥のペタンクは、欧州を中心に人気のある球技で、日本でも幅広い年代の方が楽しんでいます。『ボール』と言われる鉄球を投げ合って、『ビュット』という蛍光色の目標球に、相手より近付ける競技です。

「投げるだけなので、年齢差があっても競えるスポーツです」と話すのは、平塚ペタンク協会の会長、関善行さん。関さんは25年前に県レクリエーション協会で、ニュースポーツなどの普及に取り組んでいました。その中の一つに



ボールは
重さ 650～800g
直径 7～8cmと
さまざま

あったペタンク。「始める前は観戦していてもどちらが勝っているのかも分からず、面白みを感じませんでした。でも『面白いからやってみなよ』と知人の勧めで始めてみると『見るスポーツではなく、プレーするスポーツなんだ』と分かりました」と話します。関さんは続けていくうちに、どんなのめり込んでいきました。

戦術が醍醐味

「ビュットに自分のボールを寄せたり、相手のボールをはじいたりする単純な競技だけど、奥が深いんです」と関さん。ボールを狙ったところに投げる正確性が勝利への鍵です。

ボールの投げ方も、高く投げて転がらないように落とす、低く投げて転がす、カーブをかけるなどさまざまです。技術はもちろんのこと、戦術が勝敗を大きく左右します。「ビュットに当てて位置を動かすことも作戦の一つなので、遠くにあるボールが生きて、ラスト一投で逆転できるのも面白いところですよ」と笑顔で

見せます。

ペタンクは個人戦のシングルと団体戦のダブルス・トリプルスがあります。トリプルスの場合、ビュットなどに自分のボールを寄せる人、相手のボールに当てる人、両方を兼任する人ら、3人それぞれが役割を持ちます。「3人のプレーがかみ合ったときは何とも言えないくらいうれしいですね。シングルスは全ての役割を自分が担うので、それがまた気楽で楽しいですよ」と説明する関さん。「ペタンク

年齢や性別を問わず

は他のスポーツに比べ、1人でも実践的な練習ができる点もいいですね」と続けます。

平塚ペタンク協会は30～60歳の会員が所属し、真土大塚山公園（西真土3-10-19-1）などで活動しています。「会員は15人と多くはありませんが、30歳代が11人と県内でも若いチームです」と関さんは力を込めます。同協会は神奈川県予選で上位3チームが出場できる日本選手権に10年連続出場し、5位に入賞するなど全国規模の大会でも健闘しています。

ペタンクの大会はほとんどが男女混合で、年齢制限もありません。「年齢や性別で実力差が出るスポーツではありません。車いすやつえを使っている方もプレーできるので、みんな一緒になって楽しめますよ」とほほ笑みます。



ボールがはじき飛ばされる瞬間は最も白熱する場面

バウンド
テニス

自己流の楽しみ方で爽快感

平塚市バウンドテニス協会 ☎33-3011

「バウンドテニスは年齢を重ねても続けられるスポーツですね。コートが狭くて、走る距離が短いので、大して疲れません」と平塚市バウンドテニス協会の海老原勝恵さんは話します。

バウンドテニスは、狭いスペースでも手軽にテニスができるように考案されました。コートは幅3メートル、長さ10メートル、テニスコートの6分の1のサイズです。中央にあるネットは高さ50センチとテニスより低く設置されています。ラケットの長さは50センチと、約70センチの硬式テニスラケットと比べ、一回り小さくなっており、手軽に操ることができます。試合の進め方はサーブを腰より低い位置でボールを打つなど、テニスとの違いはあります

が、ほとんど同じです。「室内でプレーするので、雨や風など天候に左右されないのもいいですね」と額にじむ汗を拭く海老原さん。日焼けが気になる方にも最適です。

れぞれ始めた目的が異なりますが、今では仲間とボールを打つことが楽しみになっています。しかし、まだまだ世間に知られていない現状があります。

普及でつながる絆

「バウンドテニスを知らない人からは『テニスと何が違うの?』『壁打ちでしょ?』と聞かれることが多いですね」と海老原さんは言います。

バウンドテニスはシングルス、ダブルスのほかに、6人が3人ずつに分かれ、1分間のラリーを3回行い、その合計回数を競うB Tラリーという競技があります。B Tラリーを通してラケットスポーツの経験がない方でも楽しく打ち方を学べます。「狭い相手コートにいかにか打ち返すか、競技としてもレクリエーションとしても、それぞれの楽しみ方があります」と海老原さんは話します。同協会に所属する会員は運動不足やストレスの解消、ダイエットなどそ

平成26年の全日本バウンドテニス選手権大会のシニア女子ダブルスの部で3位に入るなど、全国大会で活躍する海老原さんは、「大会で良い成績を残すことで、普及につながりたい」と力強く話します。

平塚市バウンドテニス協会



全国の舞台で活躍する海老原さんは、市内で開かれる体験会などで講師も務めます

イベント情報や
会員募集などを
ウェブでチェック

スポーツナビは、いつでも、どこでも、手軽にスポーツ団体やイベント、施設などの市内の情報を得られるように、一元化したウェブサイトです。

市内で活動するスポーツ団体は、会員の募集やイベントのお知らせなど、PRができます。



「興味を持った方に負担をかけずに楽しんでいただきたいですね。そのために気軽に活動できる環境を整備するこ

はほぼ笑えます。

は50〜60歳代が中心の83人の会員が所属。七つのサークルに分かれ、青少年会館や市内中学校などで活動しています。それぞれのサークルは週1回、2〜4時間程度、ラリーや試合形式の練習などで汗を流します。

とが今後の課題です」と同協会の吉川昭理理事長は話します。「バウンドテニスはまだまだマイナーなスポーツです。知ってもらい、気軽に体験できる十分な場所を提供したいですね」と語ります。



狭いコートは適度な運動量で楽しめます

スポーツが苦手な方でも

市は平成23年の総合体育大会から、バウンドテニス、軽くて柔らかいボールを使うトリムバレーボール・ゴルフよりも短いコースで楽しむパークゴルフを種目に加えるなど、ニュースポーツの普及に取り組んでいます。「運動をするきっかけとしてニュースポーツに触れてみてほしいです」と市スポーツ課の池田健人主事は話します。

市総合計画では「だれもが気軽にスポーツを楽しむ環境を充実すること」を基本施策の一つに位置付け、市民が生涯にわたり、スポーツを楽しめる環境をつくることを進めています。

競技人口が多いスポーツに比べ、認知度の低いニュースポーツ。毎年11月に開く平塚市民・大学スポーツ交流フェスタや3月に開くひらつか市民スポーツフェスティバルでは、市スポーツ推進委員が体験会を開き、PR活動をしています。全94人が活動する同委員は研修会でニュースポーツを学び、公民館や各地区のスポーツ大会などで市民に広めています。

同委員はその他にも、ゲートボール用のスティックで白と黒のボールを打ち、五目並べをする囲碁ボールの指導者資格を取るなど、まちづくり財団と連携して、ニュースポーツとともに「囲碁のまち平塚」のPRにも一役買っ

ニュースポーツに挑戦しよう

市ではペタンクやバウンドテニスなど、20種目のニュースポーツなどのスポーツ用具を貸し出しています。

借用を希望の場合は、大原1-1バッチングパレス相石スタジアムひらつか内のスポーツ課 ☎31-3060 0463-9640 sports@ に空き状況を確認後、同課や市ウェブにある借用書を、ファクス・メールまたは直接、同課へ。

近年はスポーツをする子どもと全くしない子どもの二極化や、インドアを楽しむ人が増えたことから、スポーツに触れない人も多くなりました。「ニュースポーツはサッカーや野球など技術的要素が高いスポーツに比べ、簡単な動作でできるので、スポーツが苦手な方でも気軽に運動ができます」と力を込めます。



運動するきっかけにと池田主事

募集

応募方法は
下段

市民病院の薬剤師

5月に新しくなった市民病院(南原1-19-1・左写真)で働きませんか。

2人(選考)。採用は平成29年4月1日以降。試験は平成28年6月18日(土)。



応募方法など詳しくは、同病院ウェブをご覧ください。

募 6月8日(水)午後5時までに、市民病院病院総務課 ☎32-0015へ。

行政提案型協働事業の案

事業のテーマは、平成29年4月からの市民活動センターの協働運営です。

提案する団体は、平成28年6月4日(土)午後2時～4時に同センターで開く協働推進

課との意見交換会に必ず参加してください。

募 市民活動センター ☎21-7534や市ウェブにある事業提案書などを直接、8月16日(火)までに、同センターへ。

再生家具を提供します

粗大ごみから再生可能な家具を修理・再生して提供します。1人1点。修理費用程度を負担。

募 6月1日(水)～8日(水)、午前9時～午後4時(8日は正午まで)に、四之宮7-3-5リサイクルプラザ ☎51-5301で現物を確認して、申込書を直接、同プラザへ。

少年野球大会の出場チーム

7月22日(金)～31日(日)。大神スポーツ広場(大神3450)・バッティングパレス相石スタジアムひらつか(大原1-1)。

①小学生学童の部(1～6年生)②小学生ジュニアの部(1～4年生)③中学生の部。市

囲碁を楽しもう

①イブニング囲碁入門教室 6月14日～9月13日までの火曜日、全12回、午後6時～8時30分。市民センター。日程の6割以上参加でき、囲碁を全く知らない方ら20人(先着順)。5,000円、高校生以下2,500円。

②七夕子ども囲碁大会 7月9日(土)午前9時45分開始。勤労会館。平塚市・大磯町・二宮町に在住・在学の中小学生以下の方。1,200円。

③七夕囲碁大会(下写真) 10日(日)午前9時45分開始。勤労会館。名人戦は四段以上、王座戦は三段以下、織り姫戦は5級以上の女性、級位者戦は級位者。208人(先着順)。2,500円、高校生以下1,200円。

募 ①は電話で②は必要事項・年齢・学校名・学年・段級位・子ども囲碁教室へ通っている方は教室名を、はがきで、6月28日(火)までに③は必要事項・年齢・段級位・種目を、往復はがきで、〒254-0045見附町15-1まちづくり財団文化事業課 ☎32-2237へ。



内在住・在学の小・中学生。

1チーム5000円。

チーム編成など、詳しくは市ウェブをご覧ください。

募 市ウェブなどにある申込書を、6月3日(金)までに、選手登録書・選手登録小票・集合写真を、9日(木)までに、

メールで、スポーツ課 ☎31-3060 sports@へ。

3060 sports@へ。

16ミ映像機の操作技術講習会

6月11日(土)午前9時～午後4時30分。中央図書館。市内在住・在勤・在学の方20人(先

馬入水辺の楽校を満喫しよう

相模川河川敷の馬入水辺の楽校風車前集合。雨天中止。小学生以上の方、先着順。小学生は保護者同伴。①③は20人②は50人。

①スマホを置いて野に出よう! 道草散歩 水辺の楽校に咲く季節の花の観察などをします。

6月5日(日)午前9時30分～午後0時30分。ノート・筆記用具・色鉛筆。500円。

②やぎ島探検ツアー(下写真)

相模川にあるやぎ島で、生き物の観察や魚取りなどをします。

6月18日(土)午前9時30分～午後0時30分。1,000円。汚れてもよい服装でお越しください。

③カヤネズミの調査とセイタカアワダチソウの草刈り

日本一小さなネズミである、カヤネズミの観察や、外来植物のセイタカアワダチソウの草刈りをします。

6月25日(土)午前9時30分～午後0時30分。帽子・水筒。200円。

募 必要事項・年齢を、往復はがきで、みどり公園・水辺課 ☎21-9852へ。



美術館ワークショップ

天の川に橋を架け、織り姫とひこ星を巡り合わせたという伝説があるカササギ。星とカササギの七夕つるし飾りを作ります。完成品は美術館に展示した後、参加者が持ち帰ります。

6月25日(土)午前10時～午後4時。美術館。小・中学生と保護者10組20人(抽選)。500円。

募 講座名・参加者全員の必要事項・年齢・ファクス番号・メールアドレスを、はがき・ファクス・メールで、5月19日(木)～6月16日(木)に、美術館 ☎35-2111 FAX 35-へ。

応募方法

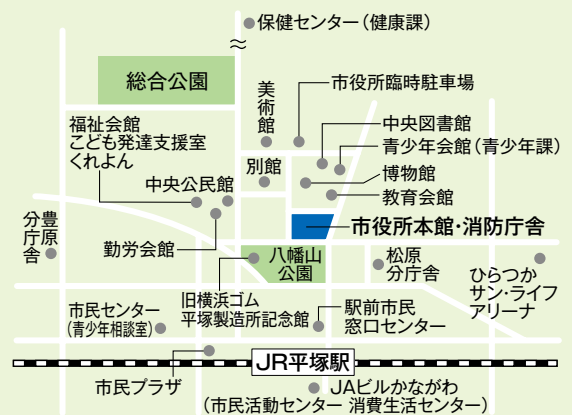
募＝応募方法
(応募が必要です)
問＝問い合わせ

必要事項とある場合、郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号をご記入ください。

市役所への郵便物は、〒254-8686平塚市役所〇〇課で届きます。

募集開始日の記載がない場合、5月23日(月)午前8時30分から、受け付けます。

メールの応募の場合 ☎以下に city.hiratsuka.kanagawa.jp を付けてください。



記入例

往復はがき		郵送・ファクス・メール	
氏名	住所	イベント名	郵便番号
	住所	郵便番号	住所
	全員の氏名	全員の氏名	全員の氏名
	電話番号	電話番号	電話番号
返信		往信	

全国広報コンクールに入選

日本広報協会が主催する全国広報コンクールの広報紙(市部)の部で、平塚市が入選しました。全国広報コンクールは、自治体の優れた広報紙やウェブなどを表彰しています。

入選作品は、広報ひらつか平成27年6月第1金曜日号(左写真)です。発達障がい児への支援を5ページで特集し、子ども・保護者・保育士を総合的に支援するという、県内でも先進的な市の取り組みを紹介しました。

問 秘書広報課 ☎21-8761

